平成３０年度地域活性化活動奨励事業報告書

１．支部名　周南都濃

２．活動名　鹿野さんさ踊り保存会

３．申請者　鹿野さんさ踊り（盆踊り）保存会代表　山崎治

４．はじめに

鹿野地区は中山間地域に位置し急速に少子高齢化が進み、児童生徒が１学年２００名を越えていたが、現在は中学校全校生徒が１００名をきっている状態である。また高齢化率も４０パーセント越えている。このような状況で、以前は７月から９月にかけて各地で毎週のように太鼓の音が聞こえていたが、現在は数地区で細々と続けられている。

このままでは伝統芸能である「鹿野さんさ踊り」がなくなってしまうという危機感から鹿野の子どもたちに伝承したいとの思いで本事業に取り組んでいる。

盆踊りは祖先の霊をお迎えし慰めめるために行われてきた行事である。その「かのさんさ踊り」を盛り上げることによって、鹿野の子どもに故郷の思い出を育ててやりたいし、また先祖や家族、地域を大事にする心も育ててやりたい。

５．活動

(1)　鹿野中学生へのさんさ太鼓、口説きの指導

７月から８月初めまで水、土曜日の１９時かっら２１時までアグリハウスで。

７月７、１１、１４、１８、２１、２５、２８、８月１、４、８の１０回。

(2)　鹿野小・中学生、小中の教師への踊りの指導各１回

(3)　鹿野小・中学校の運動会・体育祭

太鼓、口説きは中学生が担当して行う。

・鹿野小学校　９月１６日開催

児童と保護者、地区参加者で総踊りとして実施

・鹿野中学校　９月８日開催

女子生徒は浴衣、男子生徒は法被姿で、さんさ踊りリーダー（太鼓、口説き）はさんさの法被姿で実施。

(4)　中学生の地区自治会、団体への協力を支援

自治会や団体の盆踊りで中学生が太鼓や口説きで活躍。

・８月１０日　西河内自治会盆踊り大会

・８月１２日　上大町自治会盆踊り大会

・８月１４日　大泉自治会盆踊り大会

・８月１１日　老人施設やまなみ荘盆踊り大会

・８月１３日　仁保津光雲寺

・８月１５日　鹿野地区新盆供養仮装盆踊り大会

以上６ヵ所

(5)　その他の活動

・「鹿野さんさ盆踊り口説き全集」の編集、印刷２０部

・小太鼓台の作成５台

6．成果と今後の課題

鹿野小中学校の理解と協力により子どもへの指導ができ技能が身につき上達してきた特に中学生は太鼓、口説きが上手にできるようになり自治会や地区の団体の盆踊りで活躍し、地区民から喜ばれ感謝もされた。また、学校の運動会では子どもと保護者のみでなく地区民も参加して踊っている光景もみられた。（夜の盆踊りには行かれないが昼だから踊れたという声も聞かれた）

助成をいただいたおかげで長年の懸案であった口説き全集の編集印刷ができ、きちんとした形で後世に伝えることができるようになった。小太鼓台も作成することができ今後の練習や盆踊りが支障無くできるようになった。

さんさ踊り自体は多くの住民が知っており身にもつけているので大丈夫と思われるが中学生が太鼓や口説きの技能を身につけても成人すると地区外へ出て行ってしまい後継者不足は大きな悩みである。せめて盆に帰省した時は中学生の時学んだことを思い出し活躍してくれるよう指導を強めていかなければと思う。

また、指導者の高齢化が進み指導者不足も大きな悩みのひとつである。